

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課：河川課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：西屋部川河川改修事業		前再評価年度：平成22年度		
	事業種別：総合流域防災事業	事業主体：沖縄県	(H13～H31)		
	事業箇所：名護市	根拠法令：河川法	事業期間：H13～H34		
	総事業費(百万円)：4,278	費用内訳：補助 9/10	事業量：L=1,2km		
治水安全度の向上を図り、浸水被害の解消を目指す。また、環境に配慮した多自然川づくりを目指す。					
1-2 前再評価以降の計画変更	事業費、事業期間の延伸				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他()				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他()				
台風等により被災を受けた護岸の復旧等に不測の期間を要し、事業期間を延伸する。					
4 事業の進捗状況 (H27.3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	4,278	1.2	19.9	
	実施済	3,045	0.5	15.3	
	率	71%	42%	77%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	中学橋、人道橋の架替及び河口付近から西屋部橋までの約0.5kmの護岸整備が完了した。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 整備期間+50年) (基準年 H27) (単位: 百万円)	① 一般資産	21,447	① 建設費	4,278	
	② 農作物	423	② 維持費	1,311	
	③ 公共土木施設等	36,482			
	④ 間接被害額	3,237			
	便益(B)	61,589			
	基準年換算(B')	27,386			
	⑤ 残存価値	158	総費用	5,589	
	総便益	27,544	基準年換算(C)	5,650	
費用便益比 (B'/C) = 27544 / 5650 = 4.88					
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：護岸等が被害を受けることが度々あり、その都度、災害復旧工事で対応している。				
	被害実績 <ul style="list-style-type: none"> 平成23年8月4～6日：台風9号 護岸被災 32mm/h、459mm/日 平成26年7月8～9日：台風8号 仮設橋梁及び護岸等被災 76mm/h、264.5mm/日 				
	② 地元・自治体：特に問題なし。				
③ 利害関係者：特に問題なし。					
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 未整備区間については、依然として氾濫の危険性があり、早期整備が必要である。				
	② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減)： 用地取得率77%、整備率42%と事業は進捗しており、現計画を推進することが効率的である。				
	③ 事業効果の発現状況： 河口付近から西屋部橋間の約0.5kmの護岸整備が完了し、浸水被害の低減が図られている。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：平成27年度までに西屋部橋を完成させるとともに、その上流の河道拡幅を進め、平成34年度の事業完了を目指す。				
	② 対住民関係：未買収用地については、引き続き任意交渉を継続する。				
	③ 執行体制等：現在の組織体制で特に問題なし。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	この河川で守るべき生き物(レッドデータブックの対象種であるアカボウズハゼ、ルリボウズハゼ、ヒノコロモボウズハゼなど)をきちんと認識して、そのような生き物を守ることに、河川をどのような構造で整備しなければいけないのか十分に考えていただきたい。				

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画